2026年度 第2四半期
決算説明会資料

2026年11月10日

株式会社UACJ

東証プライム
証券コード 5741

Aluminum lightens the world
アルミでかなえる、軽やかな世界

Aluminum lightens the world
アルミでかなえる、軽やかな世界

1 2026年度 上期業績および通期見通し

2 事業ハイライト

3 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて

4 ご参考

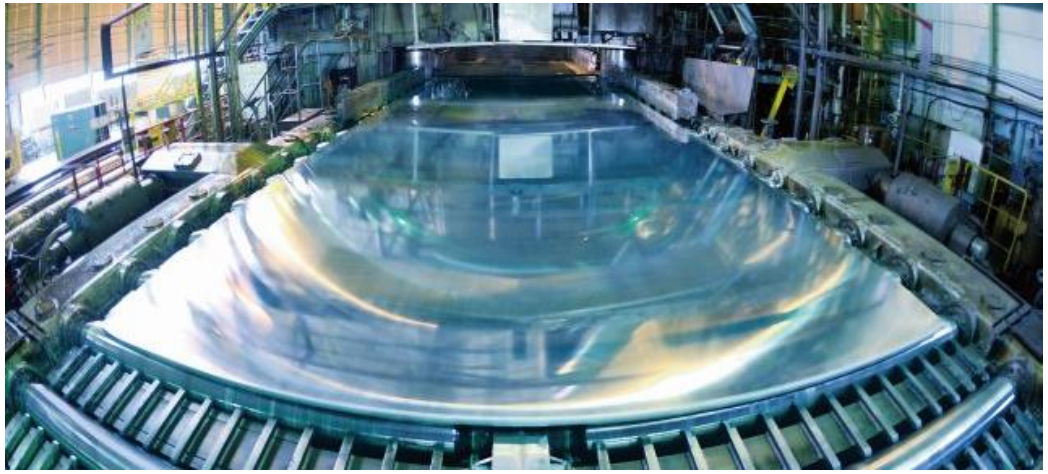
【資料全体に関する留意点】
- 事業利益： 持続的な事業活動の成果。営業利益から、棚卸資産影響、一時的・特殊な重要性のある損益を控除したもの
- 最終利益： 親会社の所有者に帰属する当期利益
- Adjusted EBITDA： EBITDA － 棚卸資産影響等
- 株式・株価： 2025年10月1日に株式分割（1株→4株）を実施。過年度の数値は株式分割後ベースに調整
- UATH： UACJ (Thailand) Co., Ltd.
- TAA： Tri-Arrows Aluminum Inc.
- UWH： UACJ Automotive Whitehall Industries, Inc
- 表示単位未満は、四捨五入のため合計値が合わない可能性があります。

© UACJ Corporation. All rights reserved.

2026年度上期 決算概況

グローバルでのアルミ需要を確実に捕捉し、事業利益の通期計画に対し順調に推移。上期の事業利益は、過去最高を達成

- アルミ需要はグローバルで着実に伸長
- 日本では、半導体製造装置向け厚板の販売、IT・データセンター向け需要が順調に拡大
- 米国アルミ市況とリサイクル原料処理能力の増強等により利益拡大
- 中東情勢の影響により副資材等の価格が上昇



（億円）	2025年度上期 実績	2026年度上期 実績	差異
販売数量（千t）	663	**671**	8
売上収益	5,401	**7,427**	2,026
事業利益	169	**455**	286
営業利益	226	**757**	530
最終利益	74	**455**	381
Adjusted EBITDA	362	**672**	310

© UACJ Corporation. All rights reserved.

2026年度 通期見通し

需要環境は総じて底堅く推移し、前年比での販売数量拡大基調を維持
事業利益・営業利益・最終利益を上方修正するとともに、自己株式取得を実施

- アルミ需要はグローバルで着実に伸長
- 底堅い需要の捕捉に加え、価格改定やリサイクル効果が発現
- 中東情勢の影響を縮小し、事業利益を上方修正
- 棚卸資産影響等を見直し、営業利益・最終利益を上方修正
- 上限150億円で自己株式取得を実施



（億円）	2025年度 実績	2026年度 見通し (8月時点)	2026年度 最新見通し	差異 （最新-8月）
販売数量（千t）	1,317	1,375	**1,352**	△ 23
売上収益	11,817	14,000	**14,000**	0
事業利益	482	860	**880**	20
営業利益	769	850	**1,000**	150
最終利益	389	420	**520**	100
Adjusted EBITDA	883	1,300	**1,320**	20
年間配当金 （円/株）	55.0	70.0	**70.0**	0

© UACJ Corporation. All rights reserved.

Aluminum lightens the world
アルミでかなえる、軽やかな世界

1 2026年度 上期業績および通期見通し

2 事業ハイライト

3 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて

4 ご参考

© UACJ Corporation. All rights reserved.

事業環境認識（2026年度）

●ポジティブ影響　●ネガティブ影響

事業環境は堅調に推移。グローバルで拡大するアルミニウム需要へ確実に応える

	日本		北米		東南アジア・その他地域	
需要動向	缶材	飲料値上げにより横ばい～微減見通し	缶材	需要予測に変化はなく、**年率3%での成長**を見込む	缶材	**堅調に拡大** 東南アジア域：経済成長に伴う拡大 欧州域：ガラス瓶からの置き換え需要に伴う拡大
	半導体製造装置	**需要は拡大** 2025年後半から需要が好転 2026年初めから好況継続				
	IT・データセンター関連	需要は長期的に拡大する見通し	自動車部品	**BEV化の推進力は鈍化**するも、ハイブリッド車の需要は順調に推移	自動車熱交換器材	自動車生産・販売台数は緩やかな回復基調にあるも、インフレ進行による消費鈍化がリスク
	航空宇宙・防衛関連	地政学的リスクを背景に需要が長期的に拡大する見通し				
販売・利益	● 欧州向け缶材輸出を継続 ● 品種構成が好転（半導体製造装置向け厚板等の増加）		缶材	● **2030年までの契約**をおおむね確保 ● **熱延投資の効率改善効果**が発現し始めている ● リサイクル投資でシュレッダー能力を拡張し、**スクラップ使用量の拡大を支える**	● 2026年度後半よりUATHからも**英国向け缶材の出荷**が新規開始にむけ順調な準備が進展 ● 北米向け自動車熱交材の出荷が継続 ● 高い品質、安定したデリバリーにより競争優位性を発揮	
			自動車部品	● 自動車の軽量化ニーズを確実に捕捉し、徹底したコストダウンを継続		
中東影響	● **原材料・副資材、エネルギー価格が上昇** ● **2026年7月出荷分より価格改定** ● 資材の調達には目途。安定供給を継続		● 中東情勢の緊迫化に起因する影響は現段階では限定的		● 一部缶材で、中東向けの出荷はあるも、影響は軽微 ● **原材料・副資材、エネルギー価格が上昇** ● 製造コストの高騰に応じた価格条件の交渉を継続 ● 価格は高騰するも資材の調達には一定の目途。安定供給を今後も継続	
米国関税	—		● 米国のアルミニウム市況は当面高水準で推移することを見込むが、4Q以降は状況を注視		—	

© UACJ Corporation. All rights reserved.

1 業績

2026年度上期業績および通期見通し

直近の原料市況および底堅い需要動向を踏まえ、通期の事業利益、営業利益および最終利益を上方修正

（単位：億円）	FY25 上期（実績）	FY26 上期（実績）	増 減	FY25実績	FY26見通し（8月時点）	FY26見通し(最新)	増 減（最新-8月）	増 減(最新-FY25)
売上収益	5,401	**7,427**	2,026	11,817	14,000	**14,000**	0	2,183
事業利益	169	**455**	286	482	860	**880**	20	398
棚卸資産影響等	57	**301**	244	287	△ 10	**120**	130	△ 167
営業利益	226	**757**	530	769	850	**1,000**	150	231
親会社の所有権に帰属する**当期利益**	74	**455**	381	389	420	**520**	100	131
1株あたり当期利益（円/株）	40.7	**251.0**	210.3	214.7	232.0	**287.1**	55.1	72.4
Adjusted EBITDA	362	**672**	310	883	1,300	**1,320**	20	437
配当金（円/株）	—	—	—	55.0	70.0	**70.0**	0	15
前提条件 LME（$/t）	2,532	3,402	870	2,772	3,169	**3,251**	82	479
前提条件 為替レート（円/$）	146	160	14	151	157	**157**	0	6
前提条件 為替レート（THB/$）	32.7	32.9	△ 0.2	32.3	32.9	**32.9**	0	0.6
前提条件 ドバイ原油（$/bbl）	69	94	25	72	99	**97**	△ 2	25

© UACJ Corporation. All rights reserved.

アルミ板　品種別売上数量

需要環境は総じて底堅い。足元の販売計画を精査し通期を見直し

（単位：千t）	FY25 上期（実績）	FY26 上期（実績）	増 減	FY25通期（実績）	FY26通期（8月時点）	FY26通期（最新）	増 減（最新-8月）	増 減（最新-FY25）
缶材	456	**453**	△ 3	901	922	**900**	△ 22	△ 1
日本*1	112	**116**	4	214	222	**219**	△ 3	5
TAA*2	225	**222**	△ 3	443	443	**435**	△ 8	△ 8
UATH*3	136	**131**	△ 5	274	281	**273**	△ 8	△ 1
内部取引*4	(17)	**(16)**	(△ 1)	(30)	(24)	**(26)**	(2)	(△ 4)
自動車材	66	**65**	△ 1	137	141	**140**	△ 1	3
厚板	17	**26**	9	39	56	**54**	△ 2	15
箔地	22	**21**	△ 1	41	42	**43**	1	2
その他一般材	102	**106**	4	199	214	**214**	0	15
合計	663	**671**	8	1,317	1,375	**1,352**	△ 23	35

*1　日本における販売（輸出分含む）
*2　TAAにおける販売（日本、UATHからの出荷分含む）
*3　UATHにおける販売
*4　各拠点間の内部取引による重複数量

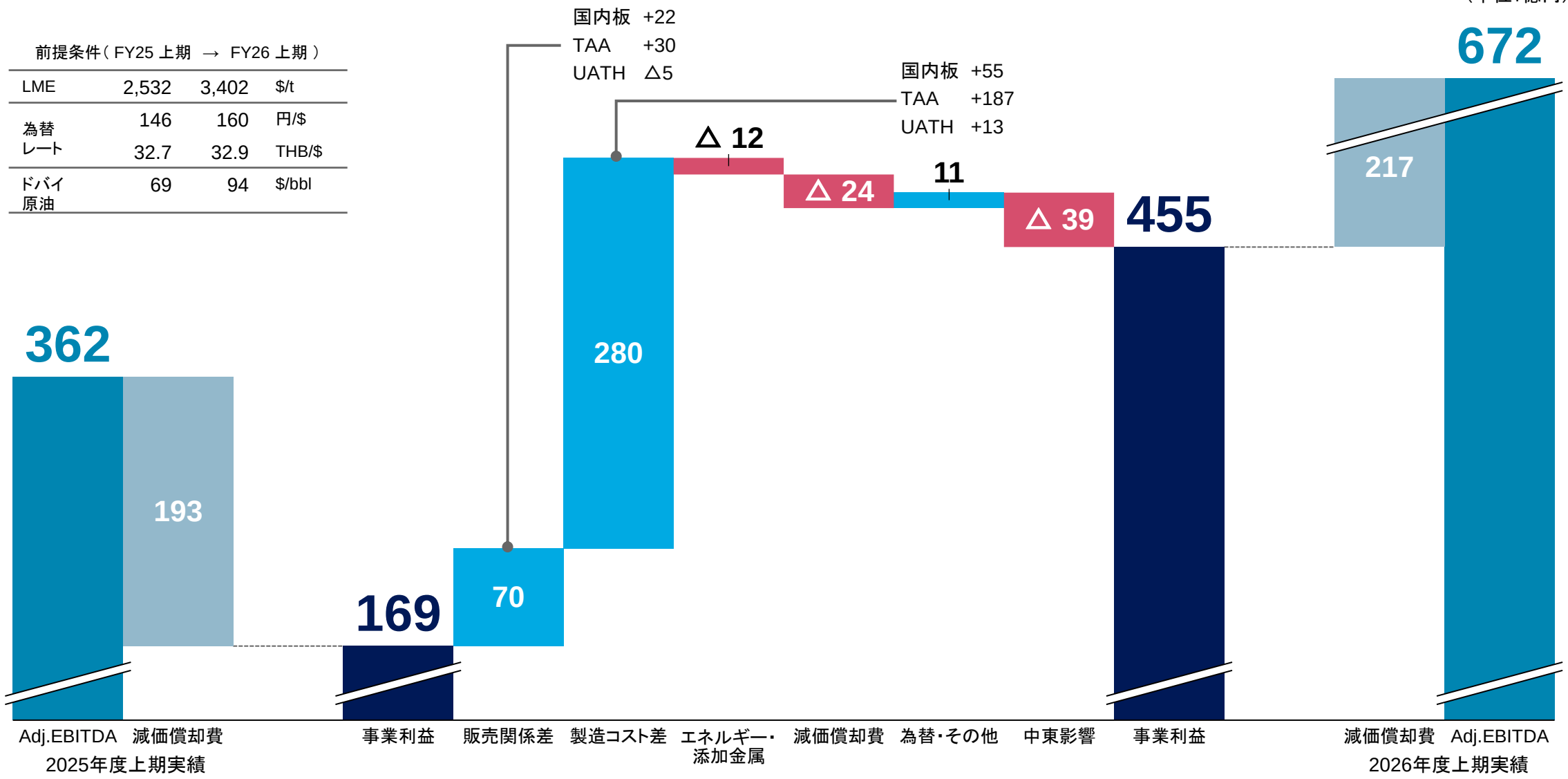
© UACJ Corporation. All rights reserved.

【25年度上期実績 対 26年度上期実績】事業利益・Adjusted EBITDA 分析

国内での販売構成良化、またリサイクル原料活用効果によって大幅増益を達成

（単位：億円）

前提条件（FY25 上期 → FY26 上期）			
LME	2,532	3,402	$/t
為替レート	146	160	円/$
	32.7	32.9	THB/$
ドバイ原油	69	94	$/bbl



© UACJ Corporation. All rights reserved.

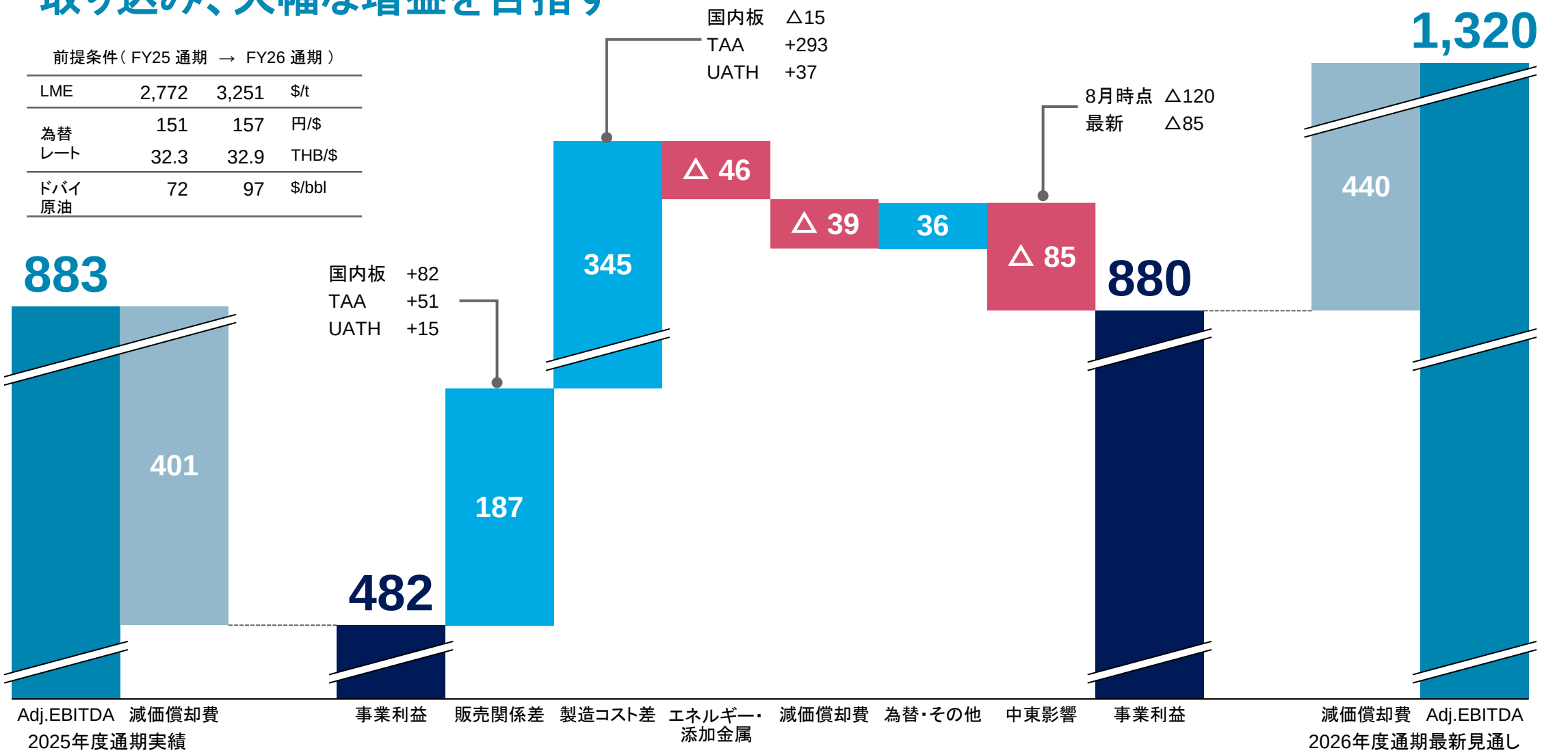
【25年度通期実績 対 26年度通期最新見通し】事業利益・Adjusted EBITDA 分析

エネルギー・副資材高騰をカバーしつつ、各拠点でのリサイクル原料活用効果を取り込み、大幅な増益を目指す

（単位：億円）

前提条件（FY25 通期 → FY26 通期）

LME	2,772	3,251	$/t
為替レート	151	157	円/$
	32.3	32.9	THB/$
ドバイ原油	72	97	$/bbl



© UACJ Corporation. All rights reserved.

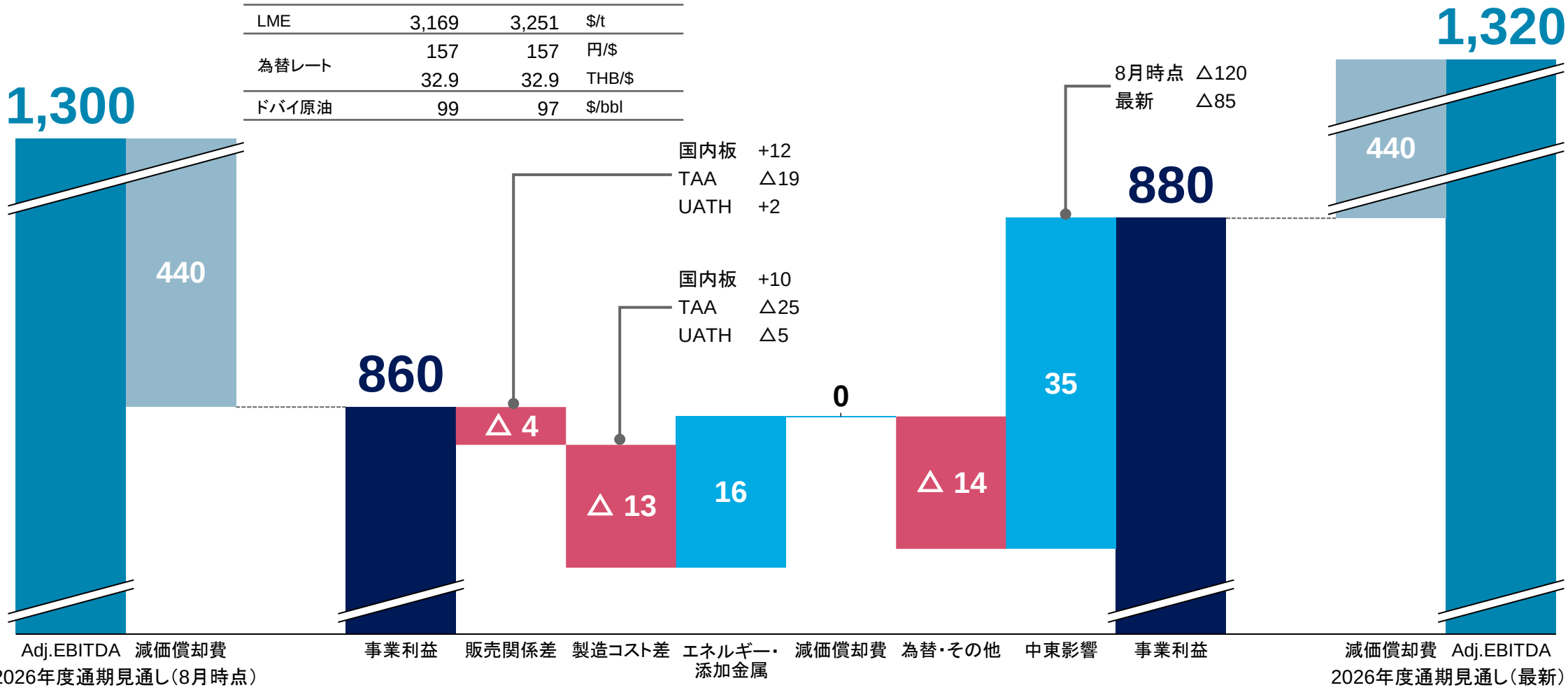
【26年度通期見通し(8月時点 vs 最新)】事業利益・Adjusted EBITDA 分析

中東影響に対し、調達ルートの最適化やコストの転嫁により影響を縮小。
通期利益見通しを上方修正

(単位:億円)

前提条件(FY26 通期 8月時点 → FY26 通期 最新)

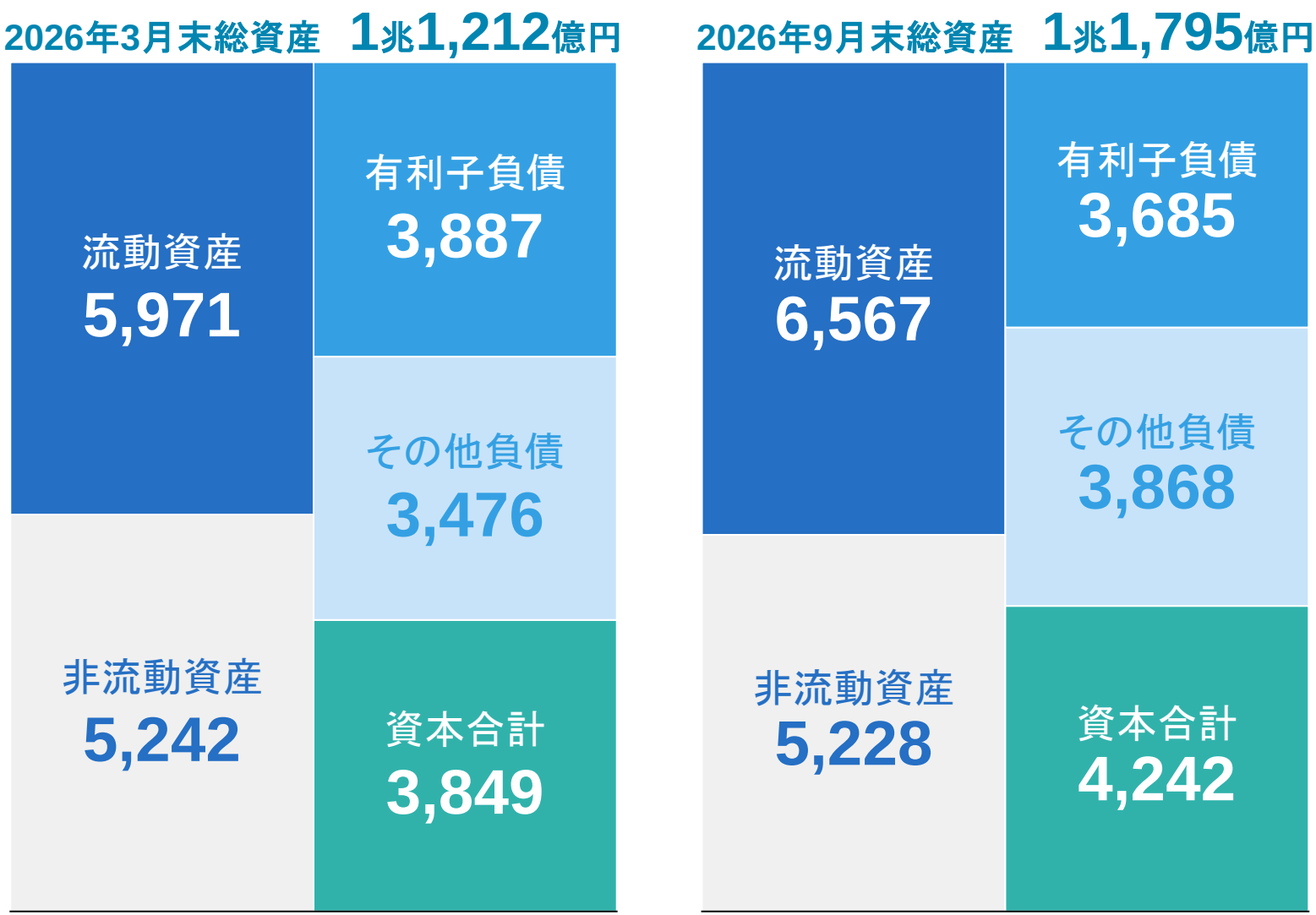
LME	3,169	3,251	$/t
為替レート	157	157	円/$
	32.9	32.9	THB/$
ドバイ原油	99	97	$/bbl



© UACJ Corporation. All rights reserved.

2026年度第2四半期末 連結財政状態計算書

地金市況価格の高騰により棚卸資金が増加



増減額： +583億円

主な増減要因

流動資産
【棚卸資産】
+576億円
地金市況高騰による影響

非流動資産
【有形固定資産】
戦略投資は予定通り進捗

D/Eレシオ
0.8倍（2026年9月末）
⇒第4次中計目標水準を堅守

© UACJ Corporation. All rights reserved.

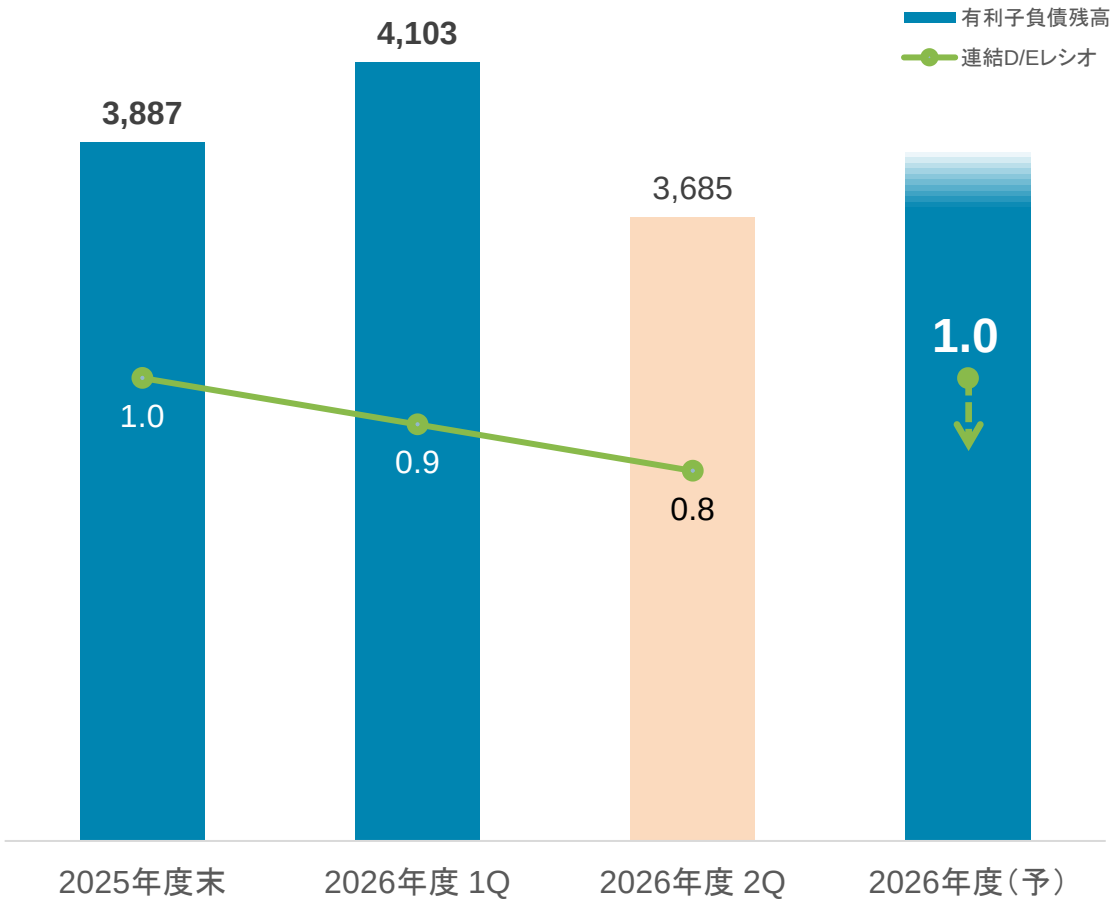
1 業績 連結キャッシュ・フロー計算書

連結キャッシュ・フロー（億円）

	2025年度 2Q	2026年度 2Q	増減
税引前利益	145	685	540
減価償却費	193	217	24
小計	339	902	564
棚卸資産増減（△は増加）	△ 125	△ 620	△ 494
債権債務増減他	89	△ 137	△ 226
法人税等	△ 22	△ 147	△ 125
営業キャッシュ・フロー　計	**281**	**△ 0**	**△ 282**
設備投資　他	△ 357	△ 260	97
フリーキャッシュ・フロー	**△ 76**	**△ 261**	**△ 185**
ファイナンススキーム・配当他	△ 172	292	465
現金及び現金同等物(△は増加)	23	148	125
外貨建借入金換算差(△は増加)	△ 25	23	48
有利子負債（△は増加）	**△ 251**	**202**	**453**

有利子負債残高（億円）・連結D/Eレシオ*（倍）

2026年度末D/Eレシオは1.0倍未満の見込み



* 連結D/Eレシオは、有利子負債のうち借入金・社債を基に算出し、また劣後特約付ローンの資本性を考慮

© UACJ Corporation. All rights reserved.

Aluminum lightens the world
アルミでかなえる、軽やかな世界

1 2026年度 上期業績および通期見通し

2 事業ハイライト

3 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて

4 ご参考

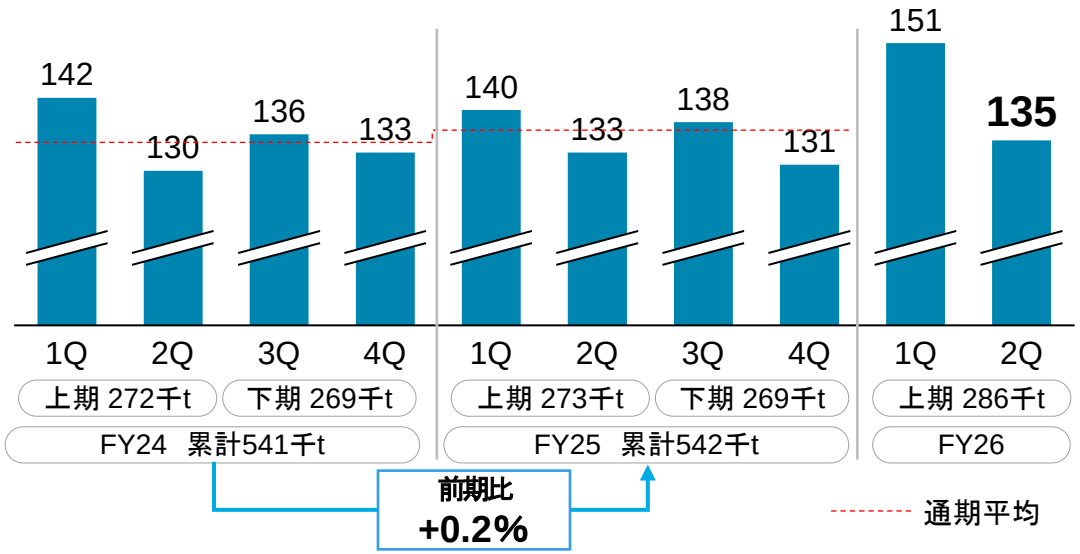
© UACJ Corporation. All rights reserved.

国内 - 板事業

半導体製造装置向けやIT関連材の旺盛な需要を背景に、国内各製造所は高操業を維持し、通期での販売拡大基調が継続

使用用途	2026年度の見通し
缶材	国内需要は横ばい～微減の見込みであることを受け、欧州市場への出荷を継続する
自動車材	中東影響による一時的な減産影響あるも、需要は堅調
半導体製造装置向け厚板	計画を上回る需要が継続見込み 需要に応じるための設備投資は順調に進捗中
IT・データセンター関連材	IT筐体、メモリーディスク、コンデンサ向け等で好調が継続

国内板事業販売数量推移(千t)



上期における生産・販売の状況

- 半導体製造装置向け厚板、IT・データセンター関連での需要が強く、日本国内各製造所は高操業状態が継続
- 中東情勢を受けて各種コストが上昇
- 2030年度UACJリサイクル率*1目標80%を目指し、さらなるリサイクル原料の活用のため、UYAR*2の設備本格稼働等、諸施策を加速

2026年度見通し

- デジタル技術の進展を背景に、半導体厚板およびIT・データセンター関連材の需要が好調に推移
- 中東情勢を受けての各種コストの上昇を背景とし、2026年7月出荷分より製品価格を改定

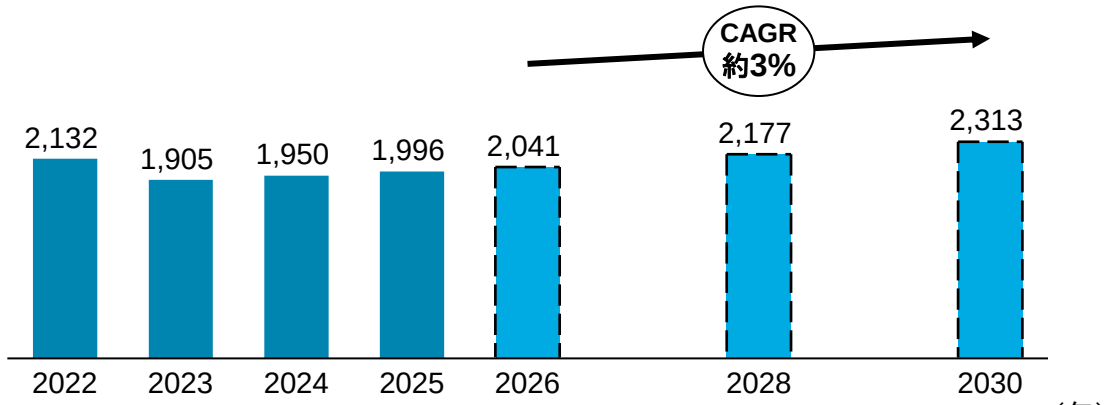
*1 UACJリサイクル率：（循環アルミ量 / 溶解炉への挿入量）×100（%） ただし純アルミ材を除く
*2 UYAR： UACJ山一アルミ缶リサイクル株式会社

© UACJ Corporation. All rights reserved.

米国 - Tri-Arrows Aluminum Inc.

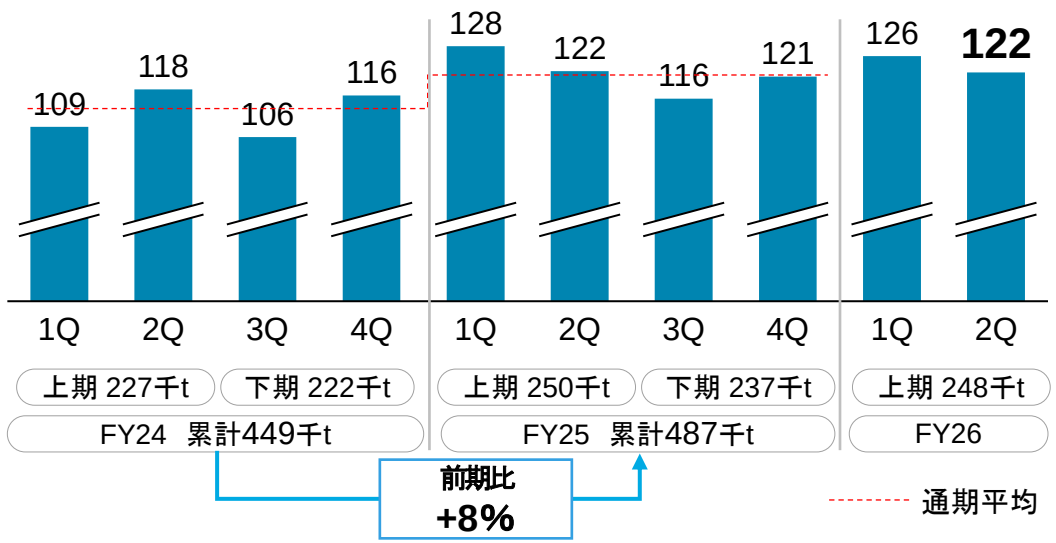
年平均成長率約3%の継続を背景に、長期契約の確保と生産効率向上で稼ぐ力を強化

米国缶材需要の推移（千t）



出典：当社調べ

TAA販売数量推移（千t）



市場環境

- 缶材需要は引き続き底堅く、2030年まで年平均成長率3%の成長を見込む
- 新製品投入と環境配慮型容器へのシフトがアルミ需要を下支え
- 缶材輸入は過去最高水準で推移するも、競合他社の新規ミルの稼働や操業トラブル解消に伴い、供給環境は徐々に正常化

上期における生産・販売の状況

- 安定した操業を継続し、高い稼働率を維持
- ボトルネック工程となっていた熱延の稼働効率向上により、圧延生産量が増加
- 2030年までの販売契約をおおむね確保し、中長期の販売数量の見通しは強い

2026年度見通し

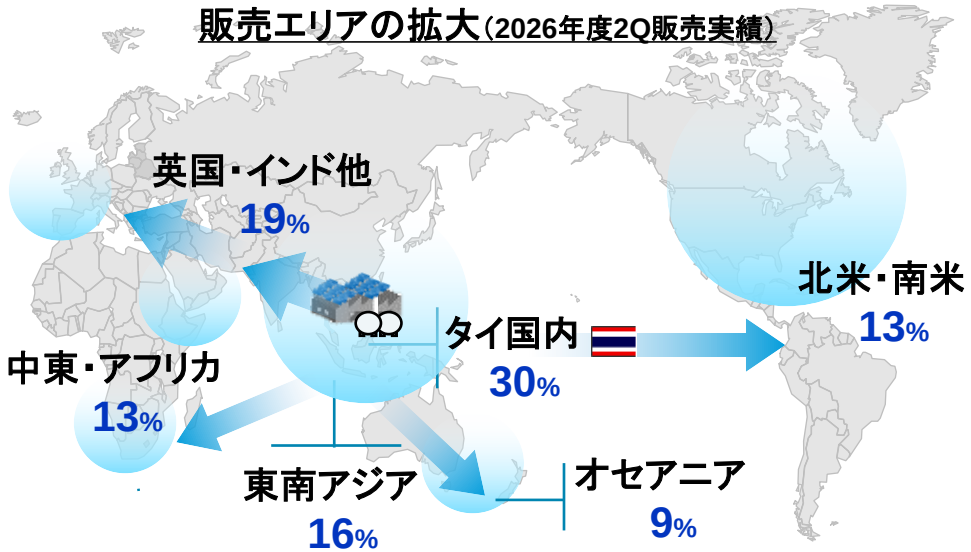
- 米国アルミ市況の大きな変動を注視しつつ、新規ミル立ち上げ等による市場構造の変化に柔軟に対応
- 熱延能力の拡張およびリサイクル設備投資効果で、生産性の向上とリサイクル原料活用効果を拡大させる
- 自社努力による徹底した効率改善で、市況に左右されない強靭な収益構造の構築を続ける

© UACJ Corporation. All rights reserved.

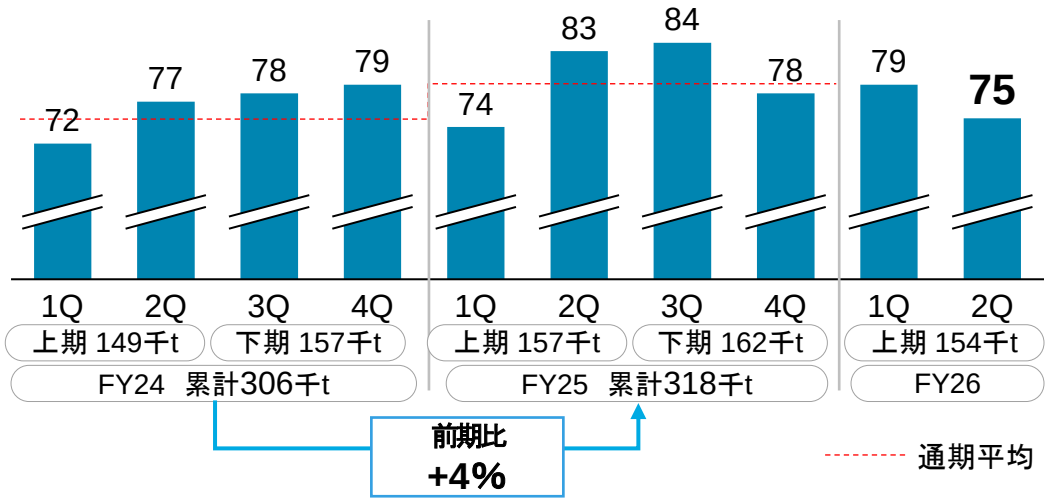
タイ - UACJ (Thailand) Co., Ltd.

グローバルでの旺盛な缶材需要を背景に販売エリアを拡大し、事業利益黒字化の定着を図る

販売エリアの拡大（2026年度2Q販売実績）



UATH販売数量推移（千t）



市場環境

- 缶材のグローバルでの需要は拡大していく見通し。
  特に欧州の需給がタイト、かつアジアの需要も底堅い
- インドにおける缶材需要は旺盛

上期における生産・販売の状況

- 英国、インド等、販売ポートフォリオ改善に向けて調整を継続
- UBC*調達ルートの拡大により、生産コストの最適バランスを構築

2026年度の見通し

- 英国向け缶材出荷が開始
- 北米向け自動車用熱交換器材の出荷が継続
- TAAに対するサポートコイルの販売を継続
- 安定した品質・納期による差別化で価格改定を継続

*UBC 使用済み飲料缶（Used Beverage Can）

© UACJ Corporation. All rights reserved.

Aluminum lightens the world
アルミでかなえる、軽やかな世界

1 2026年度 上期業績および通期見通し

2 事業ハイライト

3 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて

4 ご参考

© UACJ Corporation. All rights reserved.

3 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて

株主還元の強化

当期の業績予想を踏まえ、株主還元の強化と資本効率の向上を通じた株式価値の増大を実現することを目的として、150億円（上限）の自己株式取得及び消却の実施を決定

自己株式の取得の内容

取得対象株式の種類	当社普通株式
取得し得る株式の総数	920万株（上限） （発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合5.08%）
株式の取得価額の総額	150億円（上限）
取得期間	2026年11月11日～2027年3月31日
取得方法	東京証券取引所における市場買付

※取得期間の内、2026年12月1日から2026年12月8日までの間においては、UACJグループ従業員持株会加入者向け株式交付信託（株式給付型）導入に伴う自己株式処分の手続き期間に該当するため、株式取得は実施しない

消却にかかる事項の内容

消却する株式の種類	当社普通株式
消却する株式の総数	左記表の内容により取得する自己株式の全株式数
消却予定日	2027年4月28日

（ご参考）2026年9月30日時点の自己株式の保有状況

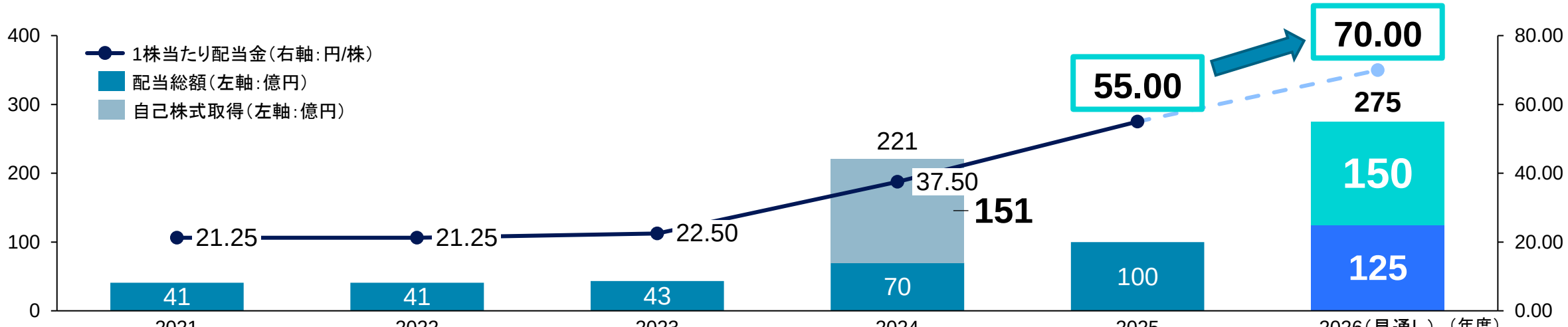
発行済株式数（自己株式を除く）	181,103,403株
自己株式数	4,209,369株

© UACJ Corporation. All rights reserved.

3 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて
株主還元方針

安定的かつ継続的な配当を目指す基本方針のもと、前年比+15円/株の増配を計画

株主還元方針（第4次中期経営計画）	**基本方針：** 安定的かつ継続的な配当を目指す **中期計画：** 第4次中計（24～27年度）期間中の配当性向は最終利益の30%以上を目途とする
2025年度配当実績	年間**55**円/株 （中間配当金**20.0**円/株、期末配当金**35.0**円/株）
2026年度配当計画	年間**70**円/株 （中間配当金**35.0**円/株、期末配当金**35.0**円/株） ※2026年5月公表時 58円/株（+12円/株）



	2021	2022	2023	2024	2025	2026（見通し）
最終利益（億円）	321	47	139	280	389	520
配当性向（%）	12.8	87.1	31.3	25.6	25.6	24.1
中計期間平均配当性向（%）		24.8			25.1	

*2022年度以前は日本会計基準、2023年度以降は国際会計基準（IFRS）
*2025年10月1日に株式分割（1株→4株）を実施。過年度の数値は株式分割後ベースに調整
*2026年度（見通し）の自己株式取得は、取得上限枠である150億円を記載

© UACJ Corporation. All rights reserved.

3 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて

資本収益性の向上、株価を意識した経営

金利上昇下においても、エクイティスプレッドの確実な創出を目指す

企業価値の創出

ROE

2023年度	2025年度	2026年度(見通し)
5.3%	12.2%	14.3%

収益性の向上

- ✓ 価値創造プロセス
- ✓ 事業戦略・成長シナリオ
- ✓ 事業利益　600億円
- ✓ ROIC目標　9%
- ✓ 事業利益＋金利・税マネジメント

成長投資

- ✓ 成長分野に向けた能力増強投資
  ⇒AI・半導体関連、
  航空宇宙・防衛分野、
  米国缶材、リサイクル　等

資本コストの低減

株主資本コスト

2023年度	2025年度	2026年度(見通し)
9%	8%台	9%台

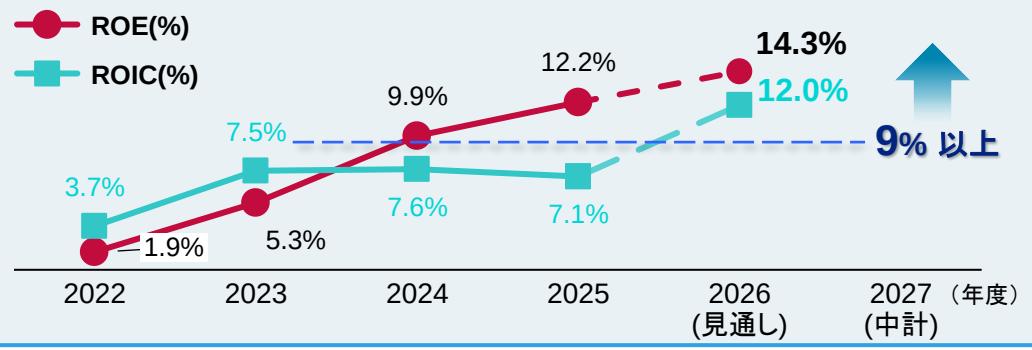
財政状態の安定化

- ✓ バランスシートの最適化・資本効率向上（自己株式取得150億円）
- ✓ 資金調達力の強化
- ✓ 効率的な経営資源の活用

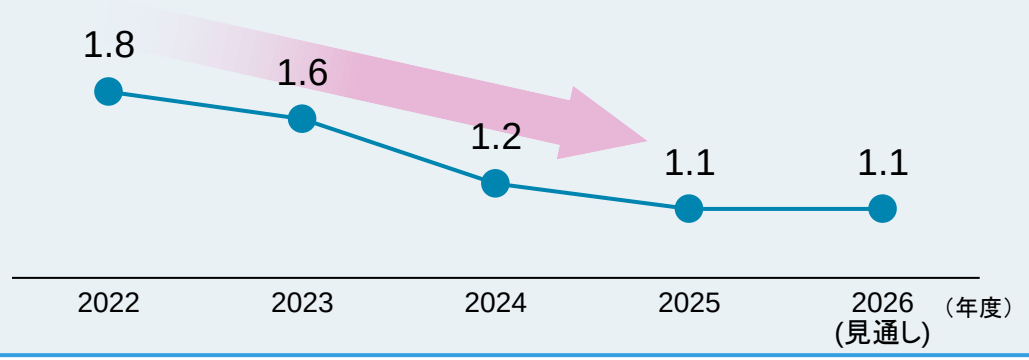
株主資本コストへの対応
- β値の改善 -

- ✓ 資本市場との対話
- ✓ 情報開示の強化
- ✓ 人的資本への投資
- ✓ 非財務分野での価値創出

ROE・ROIC 推移



β値推移



© UACJ Corporation. All rights reserved.

TOPICS

3 航空機エンジン分野でサプライヤー賞を獲得

アルミ鍛造リングの優れた品質と安定供給力が高評価に繋がる

川崎重工業様から「第13回ゴールドサプライヤ賞」を受賞

航空エンジンのリング鍛造品の品質・納期対応が高評価

- 中型旅客機向けターボファンエンジン用のリング鍛造品を供給
- 通年での品質・納期管理に加え、急な需要増への対応力が高く評価され、2年連続で最高評価「**RANK A**」を達成

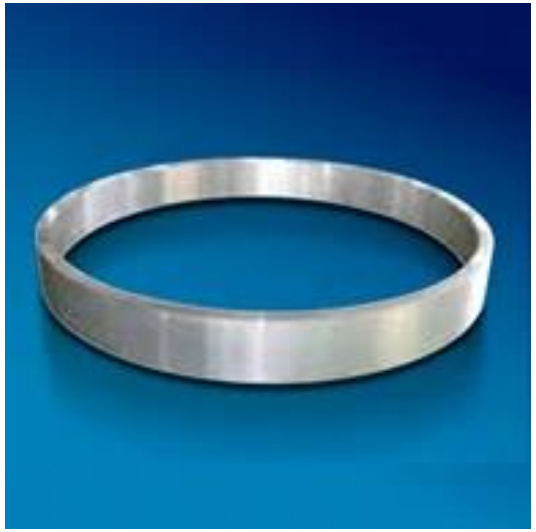
IHI様から「2025年度サプライヤー表彰（材料部門）」を受賞

民間航空機エンジン用アルミ鍛造リングの供給対応・品質管理が高評価

- 流通会社との密な連携により、部材を安定供給
- IHI様の工場へのヒアリングを基に梱包方法を管理・工夫し、納入時の不適合発生を未然に防止



表彰式での集合写真
（川崎重工業航空エンジンディビジョン、古河産業の皆さまと）



大型鍛造製品例

ご参照）
2026年8月18日　川崎重工業様から「第13回ゴールドサプライヤ賞」を受賞
2026年9月7日　IHI様から「2025年度サプライヤー表彰（材料部門）」を受賞

© UACJ Corporation. All rights reserved.

TOPICS

3 持続可能な社会基盤を支える脱炭素の取り組み

自社の製造プロセス低炭素化と、次世代モビリティを支える環境配慮型素材の展開

自営線を活用したオフサイト型PPAによる再エネ転換

北電BEST*最大規模のオフサイト型太陽光を導入し、地域系統に依存しない自立的な低炭素製造拠点を構築

- 福井製造所における電気の再エネ化率**23.5%**を達成（年間約27,694tCO_2削減見込み）
- パネル架台にUACJ再生アルミ材を採用。20年後の撤去時も再利用を計画

発電所位置関係



再生アルミ材架台



＊北電BEST[Biz Energy SoluTion]: 北陸電力ビズ・エナジーソリューション株式会社

グリーン新地金100%「ALmitas⁺ SMART」が川崎重工のジェットフォイルに採用

船舶用途初となる「ALmitas⁺ SMART」の採用により、離島を結ぶ超高速船の環境負荷低減と海上交通の維持に貢献

- グリーン新地金100%利用によりGHG排出量を**60%**以上削減（船舶用途初）
- 最高時速80km超の浮上航行を支える「**軽量・高耐久**」で運航時の燃費向上に寄与

川崎ジェットフォイル（完成イメージ）



アルミ板製造イメージ



提供：川崎重工

ご参照）
2026年10月26日 自営線を活用した太陽光PPAによる電力供給の開始
2026年10月7日 グリーン新地金100%の「ALmitas⁺ SMART」が川崎重工の超高速旅客船「川崎ジェットフォイル」に採用

© UACJ Corporation. All rights reserved.

TOPICS

3 人的資本投資の推進

従業員と株主が中長期的な株主目線を共有し、企業価値向上を目指す枠組みとして、株式交付信託の導入を決議

人的資本投資：従業員向け株式交付信託の導入

・従業員のWell-being向上に向けた人的資本投資の一環として、株式を交付するインセンティブプランを新たに導入

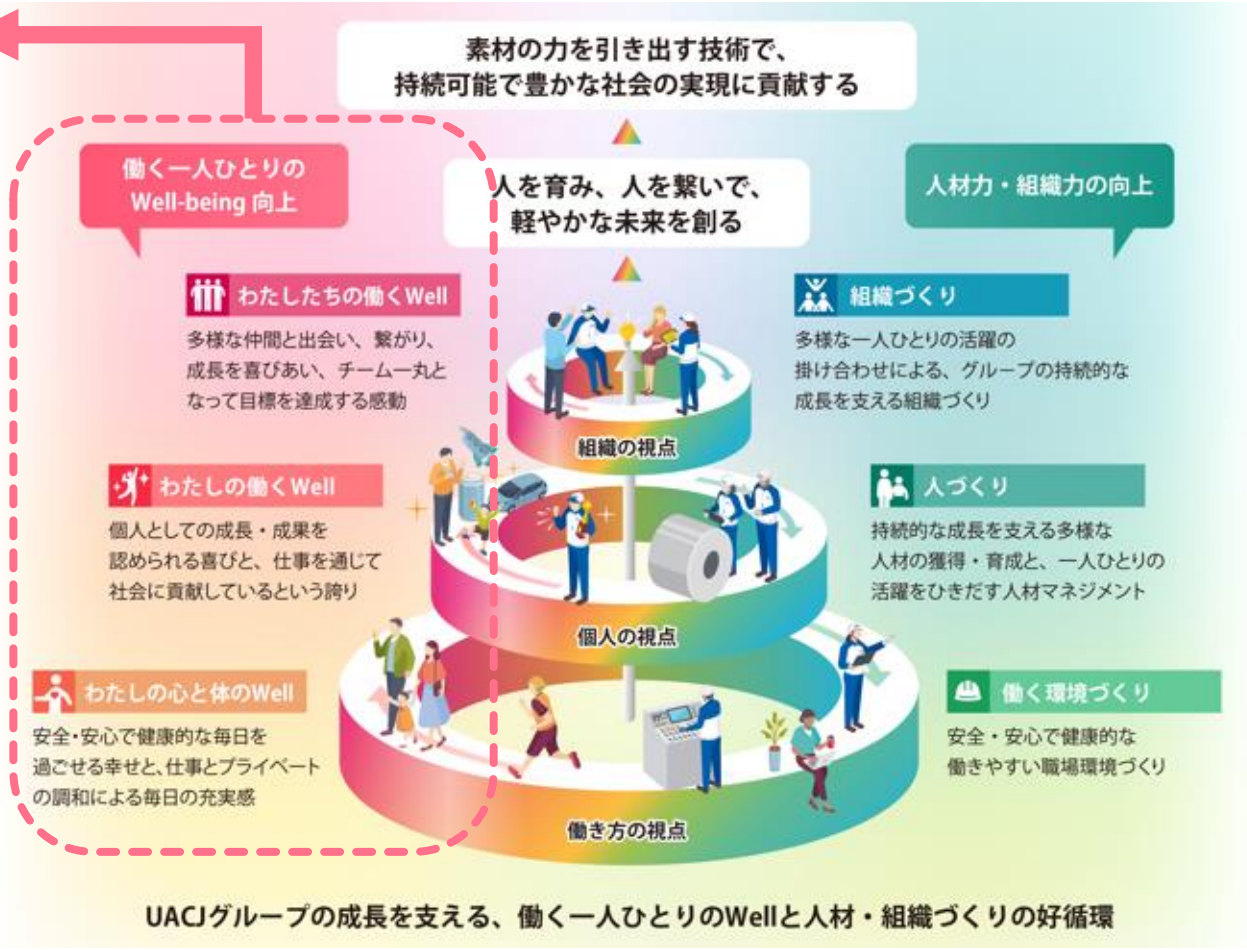
・企業価値向上への意識を高めるとともに、従業員と株主の一層の価値共有を推進

従業員持株会加入者向け株式交付信託の概要

対象	従業員持株会に加入している全従業員
方式	・当社が金銭を拠出することにより設定する信託が当社株式を取得 ・本信託を通じて、対象従業員に当社株式を交付

第三者割当による自己株式の処分の概要

処分内容	総額2,664百万円 / 150万株（1株あたり1,776円） （株式報酬等への充当を目的に保有する自己株式400万株の一部）
処分期日	2026年12月18日
処分予定先	野村信託銀行株式会社 （UACJグループ従業員持株会加入者専用信託口）



UACJグループの人的資本経営の全体像の図

© UACJ Corporation. All rights reserved.

サステナビリティ説明会のご案内

日時	2026年12月16日（水）10:00～12:00
開催形式	Zoom開催　※11月中旬以降ご案内予定
登壇者	代表取締役 社長執行役員　田中 信二 独立社外取締役　永田 亮子 独立社外取締役　島本 誠 独立社外取締役　樋口 典子 執行役員 ものづくり基盤本部長　紙谷 徳彦 執行役員 ビジネスサポート本部長　浦吉 幸男 執行役員 コーポレートコミュニケーション本部長　上田 薫

© UACJ Corporation. All rights reserved.

Aluminum lightens the world
アルミでかなえる、軽やかな世界

1 2026年度 上期業績および通期見通し

2 事業ハイライト

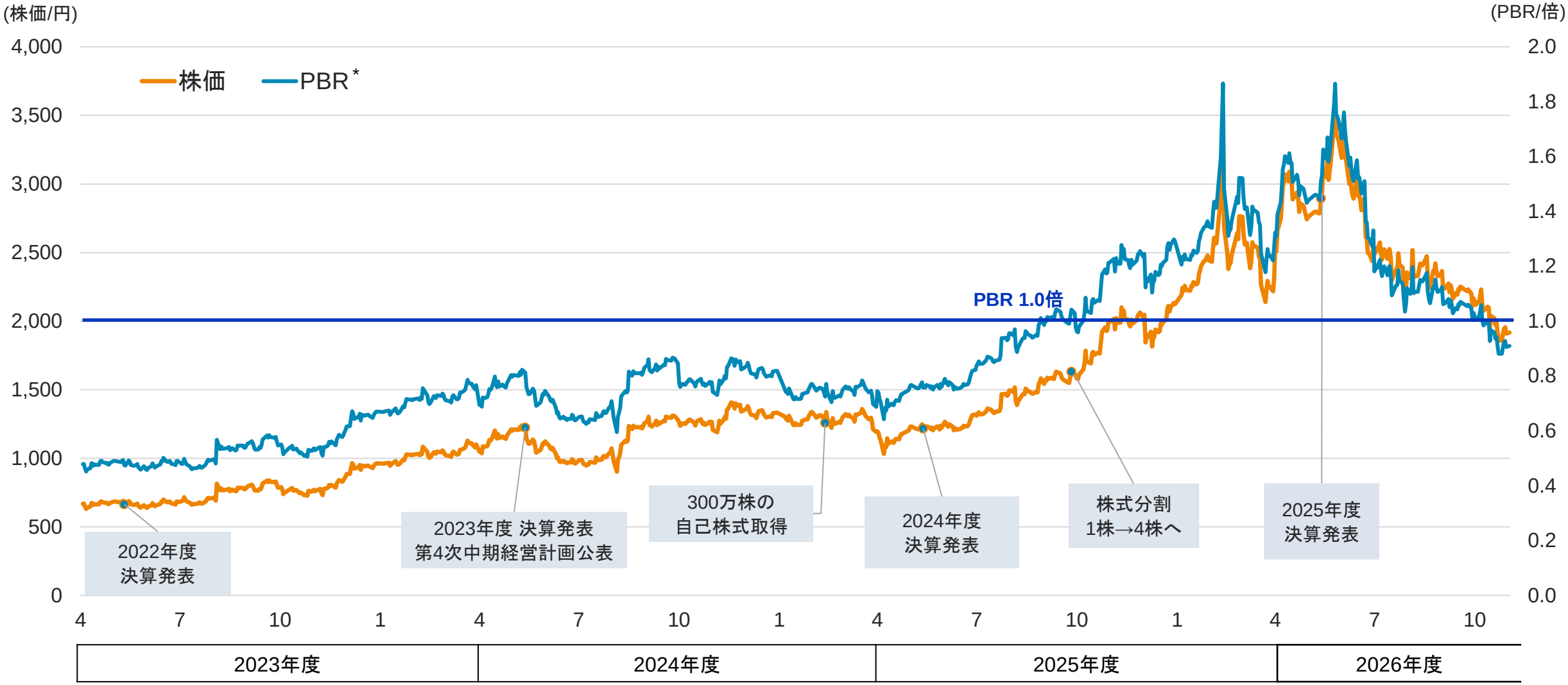
3 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて

4 ご参考

© UACJ Corporation. All rights reserved.

ご参考

4 株価およびPBR推移



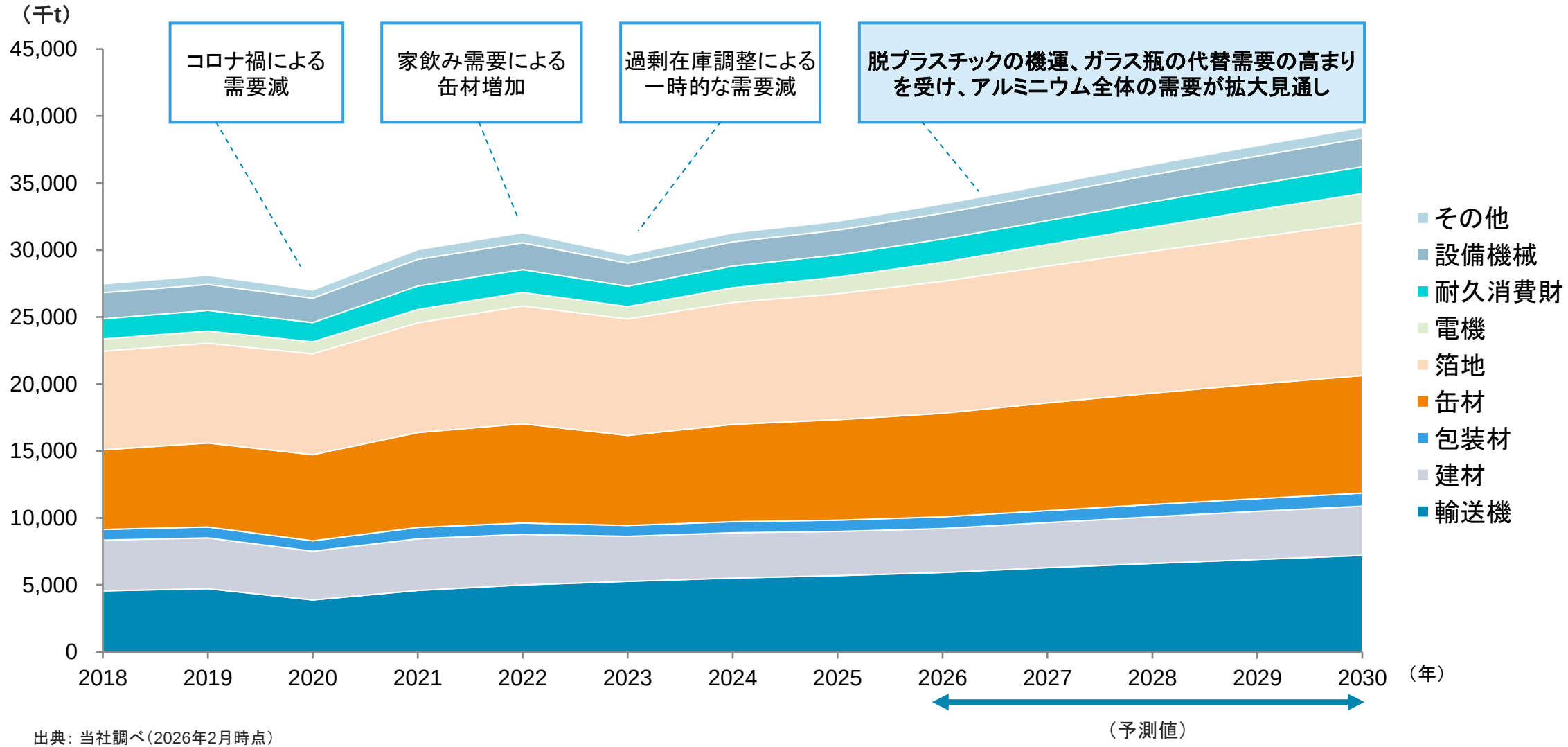
*PBR = 株価／1株当たりの親会社の所有者に帰属する持分（2026年9月末）

© UACJ Corporation. All rights reserved.

4 ご参考

アルミニウム圧延材　グローバル需要予測

各分野において、アルミニウム需要は引き続き拡大傾向

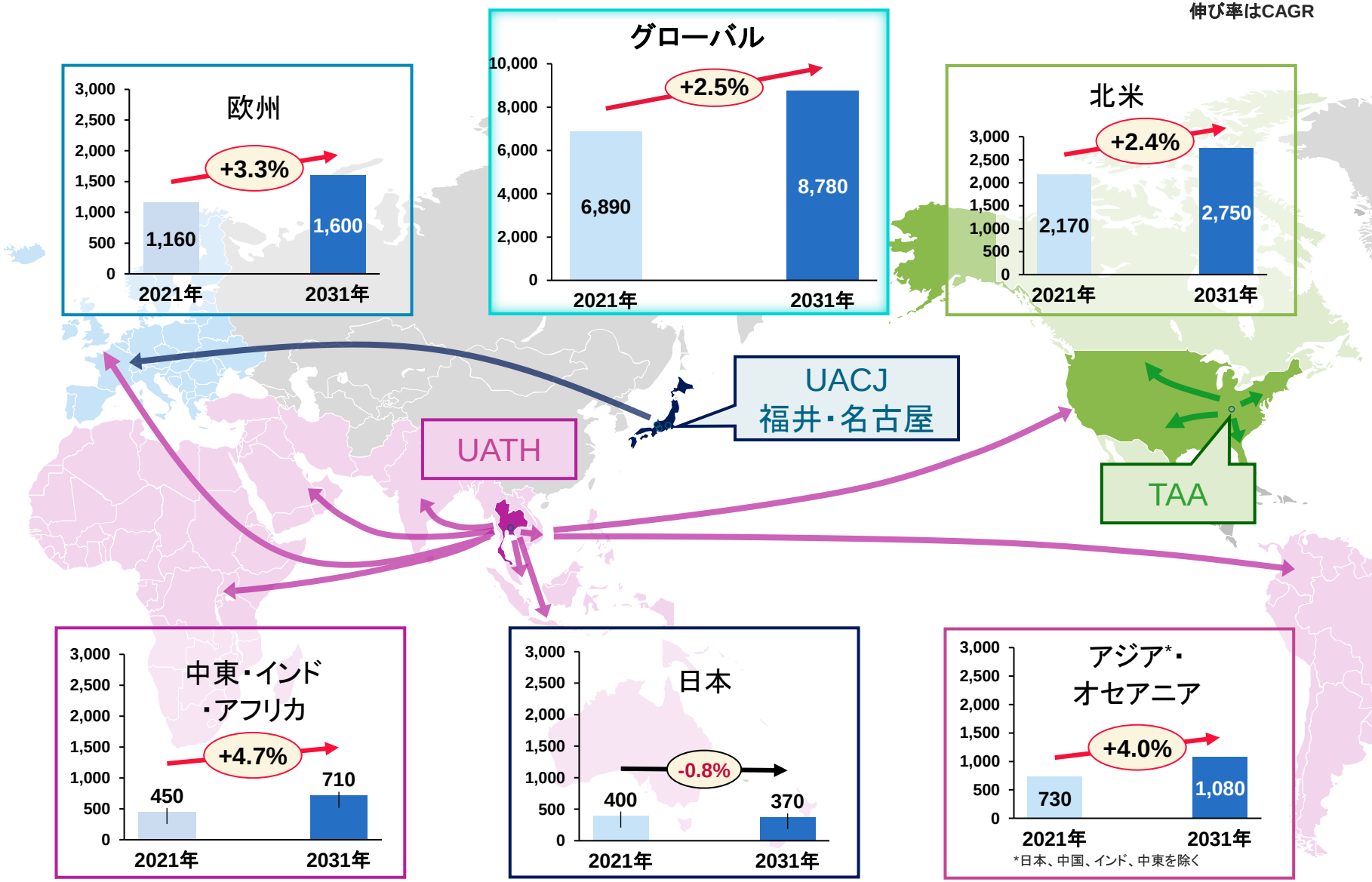


出典：当社調べ（2026年2月時点）

© UACJ Corporation. All rights reserved.

4 ご参考 アルミ缶材需要予測と主な供給拠点

（単位：千t）
伸び率はCAGR



北米

- 年平均成長率約3%の成長が見込まれる
- アルミのリサイクル性の高さを背景に、他容器からの置き換え需要が拡大

欧州

- 年平均成長率3%以上の成長が見込まれる
- ガラス瓶の置き換え需要が拡大

東南アジア

- 年平均成長率4%以上の成長が見込まれる
- 人口増加と経済成長（GDPの増加）に伴い、飲料の消費そのものが拡大

日本

- 2030年まで需要はほぼ横ばい～微減と見込まれる

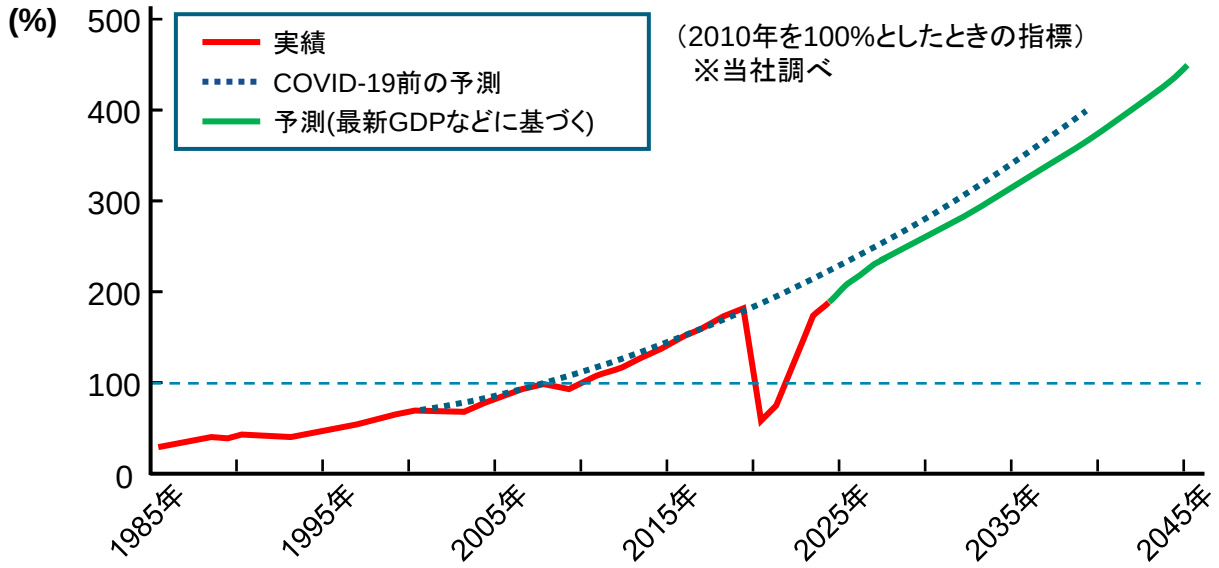
出典：当社調べ(2025年12月時点)

© UACJ Corporation. All rights reserved.

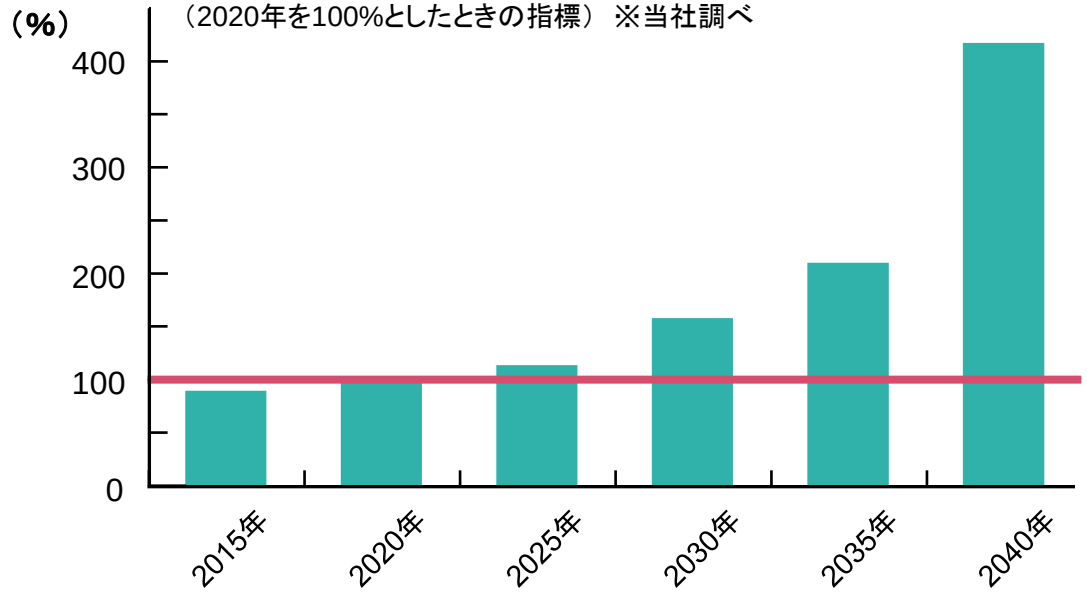
ご参考

4 航空宇宙・防衛材関連の需要動向

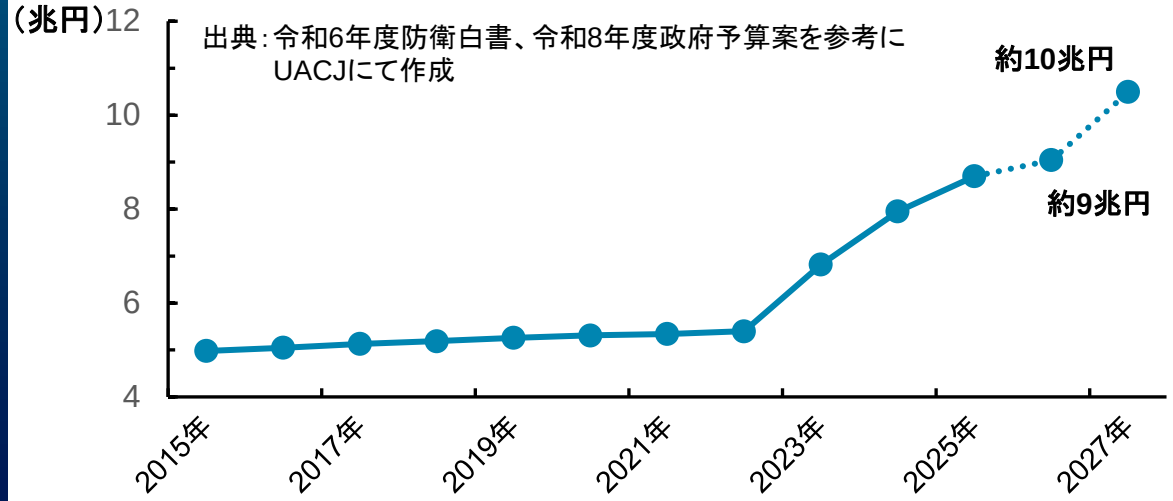
航空分野の需要動向（航空旅客輸送量推移）



宇宙分野の需要動向（宇宙産業の世界市場規模）



防衛分野の需要動向（日本の防衛関連費推移）



【取り組み施策】

- **航空**旅客需要の回復 ⇒ 北米航空機メーカーの**認証取得**
- **宇宙**市場の拡大 ⇒ 国内プライムメーカーでの**シェア拡大**
- **防衛**予算の増額 ⇒ **増産体制構築**による需要捕捉

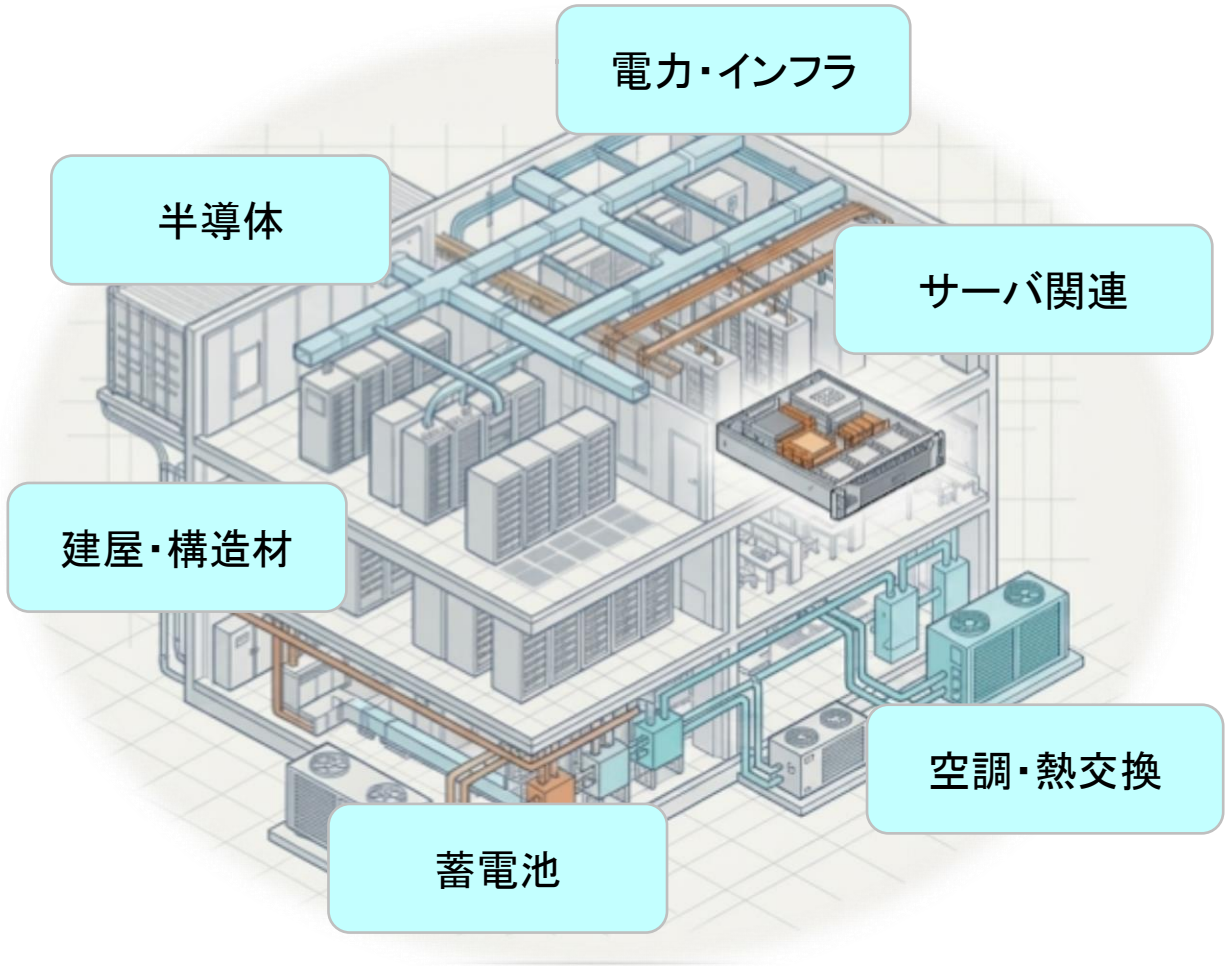
全分野で板・押出・鍛造の**供給力を最大化**し

2030年度売上**3倍**（2024年度比）へ

© UACJ Corporation. All rights reserved.

4 ご参考 成長領域におけるアルミニウム活躍の場の拡大

デジタル情報技術の急速な発展を、アルミニウムが下支え



データセンターのイメージ図

	活用中の領域	可能性のある領域
半導体	● 半導体製造装置用途の厚板	
電力・インフラ		● バスダクト ● ケーブルラック
建屋・構造材		● 放熱用アルミ板 （壁面・天井等）
サーバ関連	● HDD用ディスク ● コンデンサー箔	● CPU冷却部材 ● サーバラック
蓄電池	● LIB電極箔 ● 電池ケース材	● 電池冷却部材
空調・熱交換	● 空調用フィン ● ヒートシンク	● チューブ等



【UACJの総合力】
すそ野の広いアルミニウム製品の需要を先取りして応えるため、R&Dセンターを UACJ名古屋製造所内に設置。
名古屋製造所の多品種製造能力と合わせ、お客様の課題解決に資する製品開発を進める

© UACJ Corporation. All rights reserved.

4 ご参考

設備投資・減価償却費

設備投資は計画通り進捗中。
一般投資による安定操業体制構築と、積極的な戦略投資遂行による企業価値向上へ

（単位：億円　※検収ベース）

	FY24	FY25	FY26（見通し）	FY24~26 累計	FY24~27 見通し
設備投資	419	527	500	1,446	1,850
一般投資	188	208	300	696	900
戦略投資	231	319	200	750	950
補助金 等	←	△120	→	△ 120	△ 200
設備投資　計 **（補助金控除後）**	-	-	-	**1,326**	**1,650**
減価償却費	381	401	440	**1,222**	**1,665**

© UACJ Corporation. All rights reserved.

4 ご参考 主要指標推移

（単位：億円）

	日本会計基準			IFRS				
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度 上期	2026年度 （予）
連結売上高	5,698	7,829	9,629	8,928	9,988	11,817	7,427	14,000
連結営業利益	111	595	172	314	574	769	757	1,000
事業利益	-	-	-	434	459	482	455	880
棚卸資産影響前 連結経常利益	62	213	161	-	-	-	-	-
連結経常利益	60	523	87	-	-	-	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	△33	321	47	139	280	389	455	520
設備投資　一般投資	109	129	210	217	188	208	147	300
戦略投資	72	79	54	114	231	319	57	200
合計	181	207	264	331	419	527	203	500
減価償却費	334	340	373	364	381	401	217	440
有利子負債残高	3,358	3,394	3,367	3,109	3,407	3,887	3,685	-
ROE (%)	△1.8	15.6	1.9	5.3	9.9	12.2	-	14.3
ROIC (%)	2.2	11.1	3.0	7.5	7.6	7.1	-	12.0
D/Eレシオ（倍）*	1.56	1.36	1.25	1.0	1.0	1.0	0.8	1.0
NetDebt/EBITDA倍率（倍）	-	-	-	-	3.7	3.7	-	3.0
営業キャッシュ・フロー	386	78	526	949	91	640	△ 0	-
投資キャッシュ・フロー	△ 210	△ 210	△ 269	△ 362	△ 369	△ 595	△ 260	-
フリーキャッシュ・フロー	177	△ 132	257	587	△ 278	45	△ 261	-
株主資本（日本基準）	1,775	2,090	2,096	2,105	2,139	2,476	2,856	-

* 連結D/Eレシオは、有利子負債のうち借入金・社債を基に算出し、また劣後特約付ローンの資本性を考慮

© UACJ Corporation. All rights reserved.

4 ご参考 海外主要子会社　業績推移

TAA	2025年度 1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	2026年度 1Q	2Q	上期	通期（予）
販売量（千トン）	128	122	250	116	121	237	487	126	122	248	480
売上収益	845	952	1,797	1,032	1,259	2,291	4,088	1,459	1,348	2,807	5,139
事業利益	50	53	103	99	107	206	310	181	162	343	675
（棚卸資産影響等）	16	73	89	83	128	212	300	121	18	139	56
営業利益	66	126	192	182	236	418	610	302	180	482	731

UATH	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	2Q	上期	通期（予）
販売量（千トン）	74	83	157	84	78	162	319	79	75	154	320
売上収益	467	525	992	568	614	1,182	2,174	710	694	1,404	2,963
事業利益	0	5	5	3	△ 21	△ 18	△ 12	△ 16	2	△ 14	6
（棚卸資産影響等）	△ 15	△ 10	△ 25	39	39	78	53	135	△ 35	100	33
営業利益	△ 15	△ 5	△ 19	42	18	60	41	119	△ 33	86	39

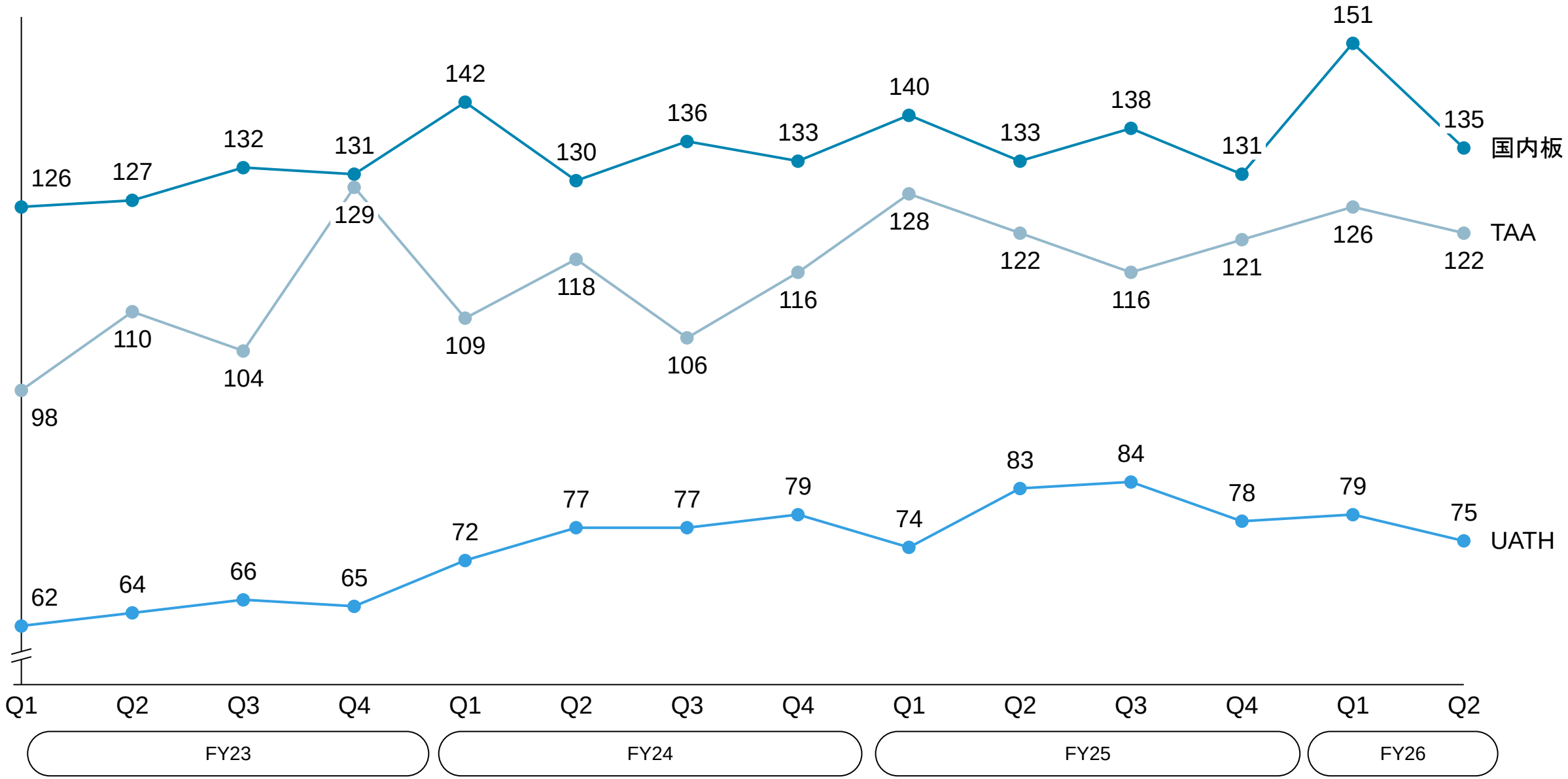
UWH	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	2Q	上期	通期（予）
売上収益	94	100	194	96	105	200	395	108	112	220	427
事業利益	1	7	8	1	0	1	9	2	6	8	7
（棚卸資産影響等）	△ 1	△ 1	△ 2	0	△ 58	△ 57	△ 59	△ 1	△ 3	△ 4	△ 4
営業利益	△ 0	6	6	1	△ 57	△ 56	△ 50	1	2	3	3

*UATH、UWHの2025年度棚卸資産影響等実績には減損損失を含む

© UACJ Corporation. All rights reserved.

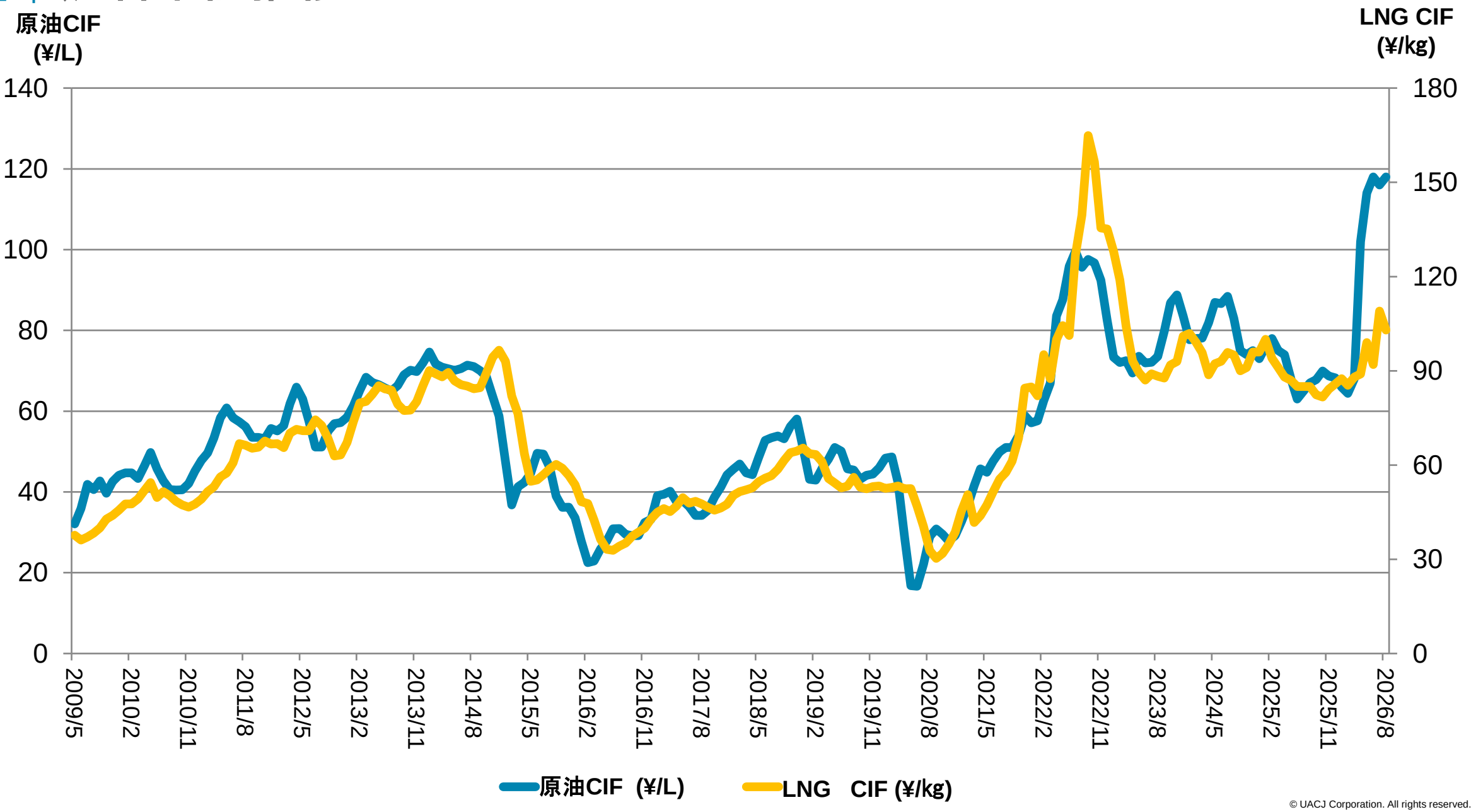
4 ご参考 3極 販売数量推移

（千t/Q）



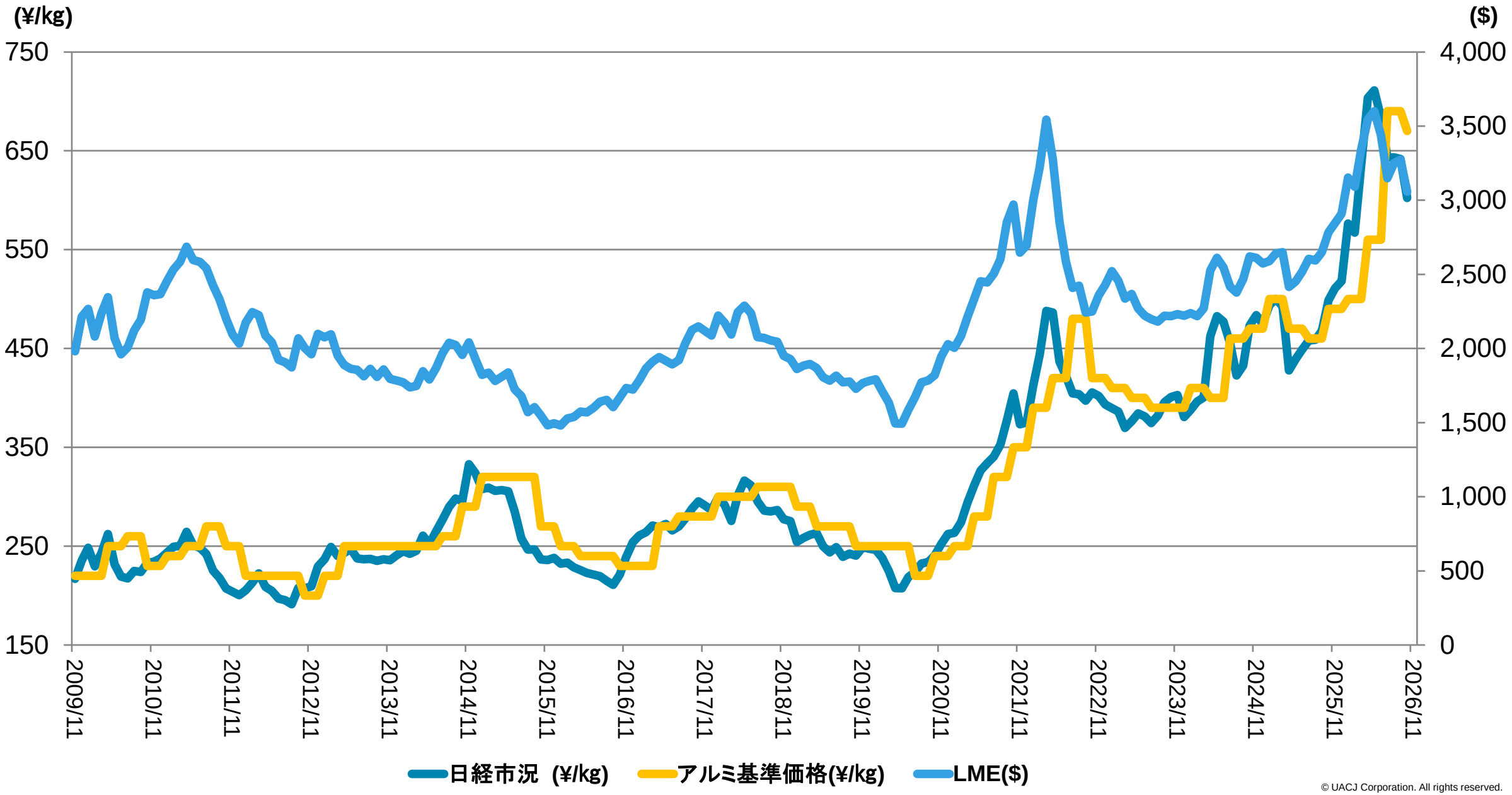
© UACJ Corporation. All rights reserved.

4 ご参考 燃料単価推移



© UACJ Corporation. All rights reserved.

4 ご参考 アルミ地金日経平均･アルミ基準地金



© UACJ Corporation. All rights reserved.

ご参考

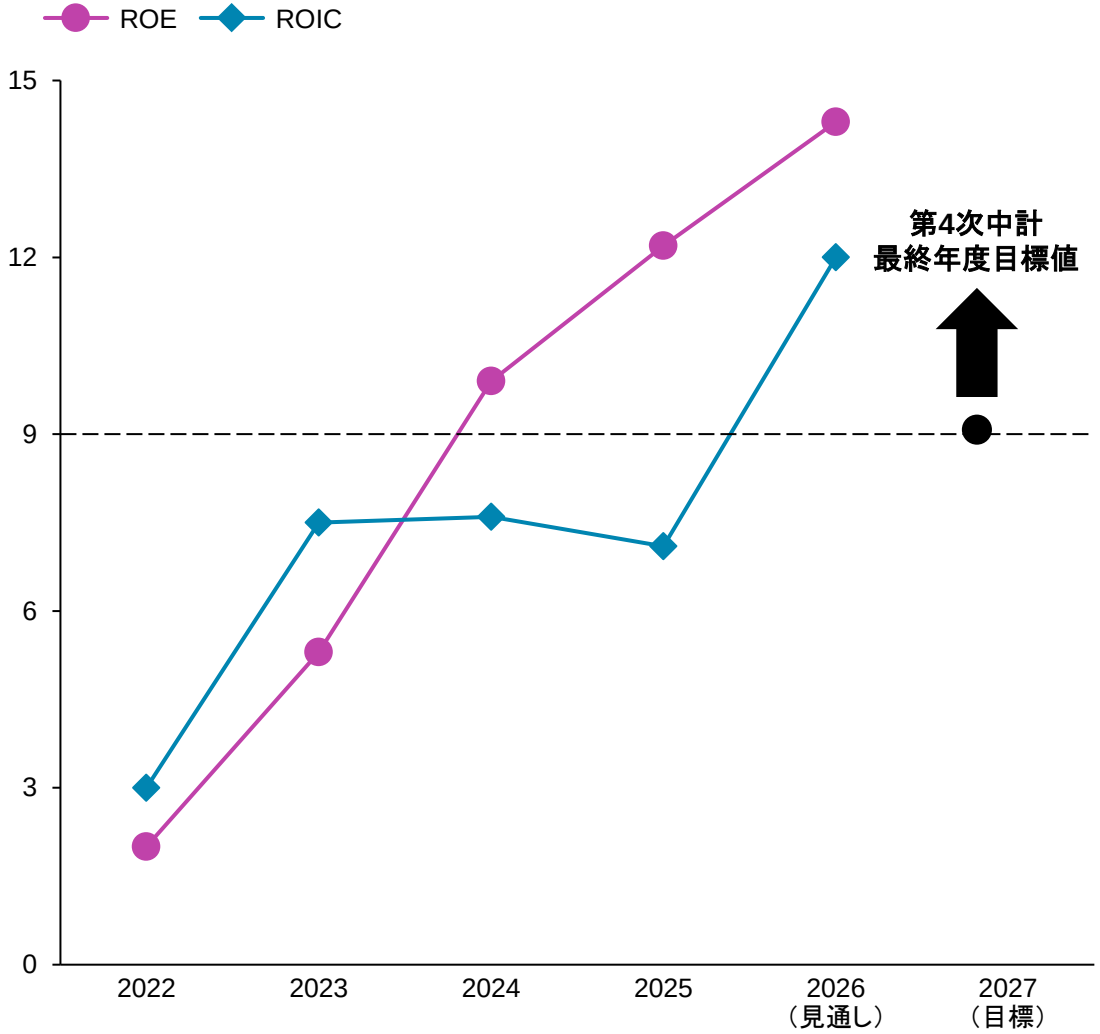
4 諸元と感応度

	2025年度 期中平均	2026年度 上期平均	2026年度 前提 （5月時点）	2026年度 前提 （8月時点）	2026年度 前提 （最新）	営業利益への感応度
LME（米$）	2,772	3,402	3,200	3,169	3,251	$100/t上昇した場合 →＋22～35億円/年 ※棚卸資産影響等に含まれるため、事業利益への影響はない
為替 （円/米$）	151	160	153	157	157	• 燃料単価、添加金属：円高が有利 • ロールマージン、為替換算差：円安が有利
為替 （円/タイバーツ）	4.7	4.9	4.7	4.8	4.8	
為替 （タイバーツ/米$）	32.3	32.9	32.5	32.9	32.9	• 燃料単価、添加金属：THB高が有利 • ロールマージン、為替換算差：THB安が有利
原油 （ドバイ:米$）	72	94	90	99	97	10$上昇した場合 →△10～15億円/円 ※サーチャージ制一部導入済み

© UACJ Corporation. All rights reserved.

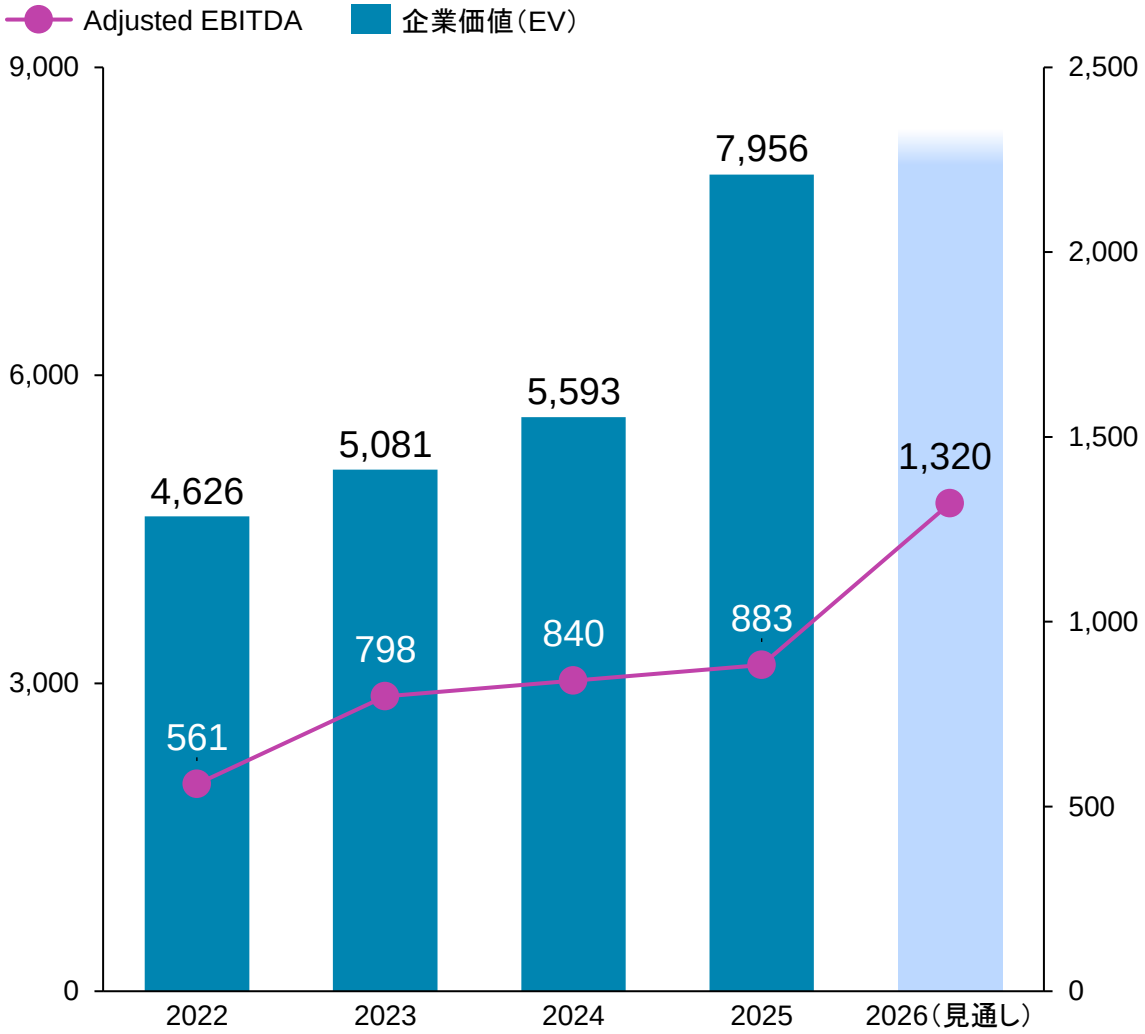
4 ご参考 資本収益性と企業価値創出力

ROE、ROIC推移(%)



*ROICは事業利益を分子として算出

Adjusted EBITDA、企業価値（EV）推移(億円)



*企業価値（EV）： 時価総額＋有利子負債残高－現金及び現金同等物＋非支配株主持分

© UACJ Corporation. All rights reserved.

Aluminum lightens the world

アルミでかなえる、軽やかな世界

将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上収益及び利益等の計画や見通しのうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、実際の売上収益及び利益等と、この資料に記載されております計画や見通しとは、今後さまざまな要因により大きく異なる場合があり、確約や保証を与えるものではないことをご承知おきください。
また、本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。

著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、株式会社UACJ に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

本資料ならびにIR 関係のお問い合わせにつきましては、下記までお願いします

株式会社UACJ
コーポレートコミュニケーション本部　IR・広報部
https://www.uacj.co.jp/inquiry/

東証プライム
証券コード
5741

© UACJ Corporation. All rights reserved.